

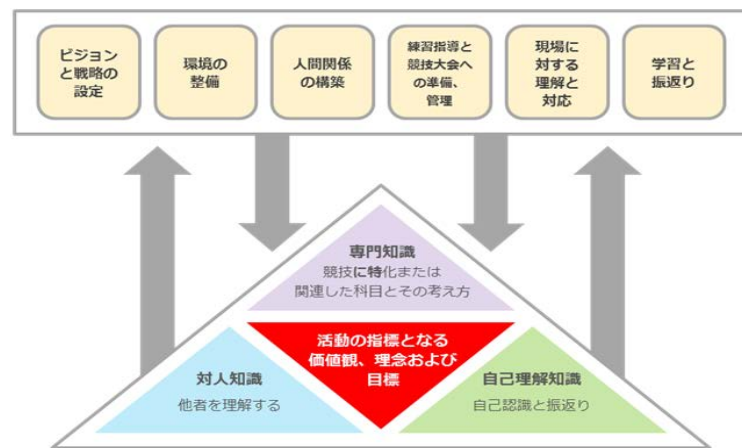
女性エリートコーチ育成プログラム

女性エリートコーチ育成プログラムとは

<目的>
高い競技水準での実績があり、**ロールモデルとしての可能性**を有する対象コーチに対し、「女性エリートコーチ育成プログラム」に基づく活動を実施することで、**女性エリートコーチを戦略的に生み出す**ことを目的とした。

本プログラムのコンセプト

本プログラムでは、国際コーチングエクセレンス評議会が提唱する「スポーツ・コーチングにおける国際的な枠組み」を活用して対象コーチの目標と学習すべき領域を明確にし、効果的な学習を推進する学びのPDCAサイクルを開発した。



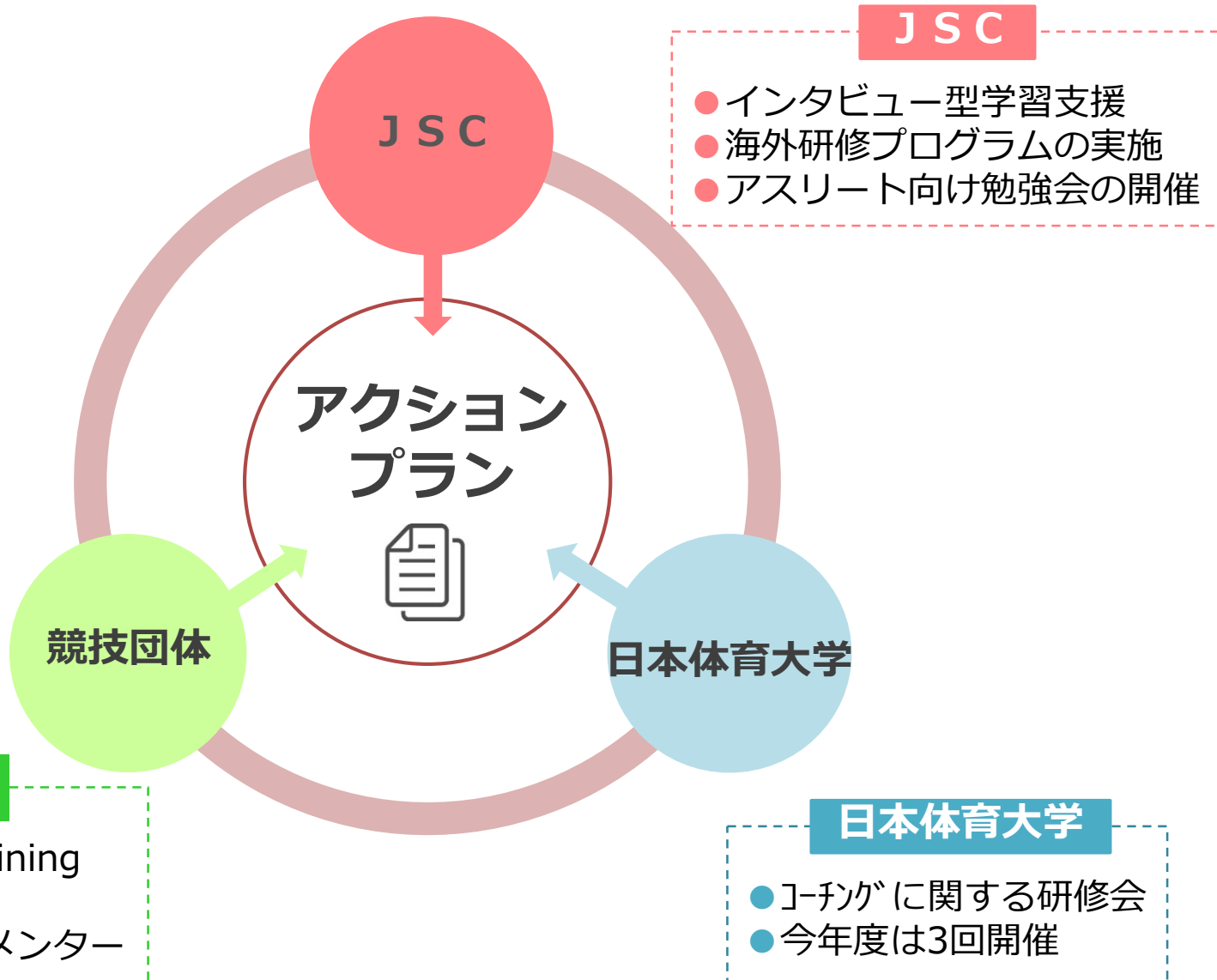
図：コーチングにおける職務関連のコンピテンスト、その土台となるコーチングの基礎となる知識

第2期 対象コーチ

公益財団法人日本バレーボール協会	井村 仁美	女子ユースチーム アシスタントコーチ
	金子 美由紀	名城大学男子バレーボール部 監督
公益社団法人日本トライアスロン連合	関根 明子	日本トライアスロン連合 理事
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会	中嶋 亜弥	弘前サクラオーバルズ プレーヤー兼スタッフ
	中村 知春	女子7人制ラグビー日本代表 主将
	平山 愛	自衛隊体育訓練学校所属 プレーイングコーチ
一般財団法人全日本野球協会	中島 梨紗	全日本女子野球連盟 スキルコーチ
公益財団法人日本サッカー協会	那須 麻衣子	U-16日本女子代表 アシスタントコーチ

本プログラムの学びの仕組み

競技団体、日本体育大学、日本スポーツ振興センター（JSC）の3団体が対象者のアクションプランに基づく学習を支援する。



2018年度の課題

- 対象コーチのプレゼン能力の向上
- コーチングスキルのインプットはできた
- OJTにおける受入れ先との調整が不十分



2019年度取り組み

- ◆ アウトプットするトレーニング、場の創出
- ◆ OJTにおける環境整備および改善策の検討
- ◆ プログラムのデリバリー
 - ・ハンドブックの活用
 - ・アスリート向け勉強会の実施



《テーマ》 対象コーチが自己表現する場を創出

自己効力感の向上

競技団体内に取り組みが認知される

女性エリートコーチ育成プログラムの構築

本プログラムで構築したプログラム内容は下記のとおり。

2018年度	
集合研修プログラム	
1 キックオフミーティング（2018年9月4日～5日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明 ・アクションプラン作成、プレインタビュー
2 第1回インタビュー型学習支援（2018年11月2日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始からの活動の進捗確認
3 第1回日本体育大学研修会（2018年11月5日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングに関する6つの職務の振り返り ・講演：Pauline Harrison氏（ICCE Women in Coaching プロジェクトリーダー） ・ワークショップ（現在直面している課題解決に向けて）、自己理解知識
4 第2回日本体育大学研修会（2019年1月6日～7日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演：Penny Werthner氏（カルガリー大学キネシオロジー学部教授・学部長） ・海外の女性コーチ事例から学ぶ「ハイパフォーマンス領域の選手・コーチへの支援」 ・トレーニング計画立案、スポーツ科学の導入
5 海外研修プログラム（2019年1月21日～26日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・Sprot for Life Canadian Summitへの参加
6 第3回日本体育大学研修会（2019年3月5日～7日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ科学の活用事例・活用方法 ・スポーツ科学を活用したトレーニング計画の立案
7 第2回インタビュー型学習支援（2019年3月7日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中間の振り返りおよびアクションプランの改善
競技現場での実践的コーチングトレーニング	
実践的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・強化現場におけるOJT ・海外研修
知識獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス取得 ・セミナー、カンファレンス参加 ・大会および練習視察 ・語学学習
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・育児サポート ・メンターとの面談

2019年度	
集合研修プログラム	
1 第2回インタビュー型学習支援 欠席者フォローアップ（2019年4月11日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席者へのフォローアップ
2 新規団体キックオフミーティング（2019年7月3日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明、アクションプラン作成
3 第1回日本体育大学研修会（2019年7月4日～5日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキルについて ・片上先生による講義
4 第1回インタビュー型学習支援（2019年7月6日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアレビュー
5 海外研修プログラム 事前学習（2019年10月9日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外研修プログラムの概要説明、館内見学、オーストラリアに関する情報提供 ・ワークショップ：研修を通じた課題解決に向けて
6 海外研修プログラム（2019年11月2日～9日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングオペレーション ・AISカンファレンス参加
7 第2回日本体育大学研修会（2019年11月19日～20日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキルの振り返り ・効果的なファシリテーションとは
8 第2回インタビュー型学習支援および海外研修プログラム報告会（2019年11月21日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPSC内へ公開し、参加者よりインタビューおよびフィードバックを受ける ・海外研修プログラムの報告会
9 第2回インタビュー型学習支援 フォローアップ（2019年12月20日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回インタビュー型学習支援欠席者のフォローアップ
10 第3回インタビュー型学習支援（2020年2月25日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの総括
11 第3回日本体育大学研修会（2020年2月26日～27日）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムにおける学習の振り返り
競技現場での実践的コーチングトレーニング	
実践的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・強化現場におけるOJT ・海外研修 ・合宿の企画・運営
知識獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス取得 ・セミナー、カンファレンス参加 ・大会および練習視察 ・語学学習
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・育児サポート ・メンターとの面談

実施内容（日体大とJSCの連携プログラム）

昨年度は、スポーツ科学に対する知識不足や苦手意識を払拭するため、専門知識を中心として研修を組み立てた。今年度は、得られた知識を現場で活用できるようプレゼンテーション・ファシリテーションをテーマとし、対人知識および自己理解知識を習得するプログラムを実施した。

片上先生による講義



総括



専門知識

競技に特化または
関連した科目とその考え方

活動の指標となる 価値観、理念、 目標

対人知識

他者を理解する

自己理解知識

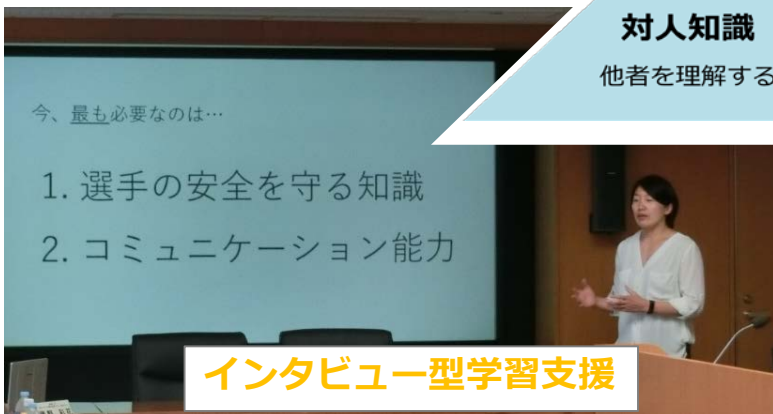
自己認識と振り返り

スポーツコーチングにおける国際的枠組み（ISCF）よりJSC作成

今、最も必要なのは…

1. 選手の安全を守る知識
2. コミュニケーション能力

インタビュー型学習支援



振り返り



Point

- 相互学習機会を創出
- 自分の考え、理念が整理された
- 人前で話すことに対するハードルが下がった

海外研修プログラム

JSCがMOUを結ぶAustralian Institute of Sportと連携した研修プログラムを企画・実施した。海外の女性コーチのコーチング現場視察やカンファレンス参加を通じて、グローバルな視点の獲得および相互学習機会を創出した。

期間：2019年11月2日（土）～9日（土）

場所：オーストラリア シドニー/キャンベラ

参加者：対象コーチ5名、JSCスタッフ4名

AISコーディネーター：Sue Jenkins氏

スケジュール：

11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日
	Coaching Observation	Coaching Observation	AISカンファレンス	AISカンファレンス	AISカンファレンス
Coaching Observation	シドニー ↓ キャンベラ				



<参加した対象コーチの声>

- ・オーストラリアで会ったコーチたちは、自身の哲学や理念を明確に持ち、それを言語化していた。
- ・練習前後に選手と握手をしながら挨拶をしている姿はカッコよかった。真似したいと思った。
- ・英語に対するハードルが下がった。
- ・4人の育児をするコーチと出会って勇気づけられた。

Point

- 様々なロールモデルと出会い、目指すコーチ像が具体化した
- 研修を通して、対象コーチの絆が深まった

実践的学習

本プログラムにおいて学習した知識やスキルをより実践現場で応用する機会の創出として、トライアスロン連合では、対象コーチが企画・運営する合宿を実施した。



<トライアスロンU15合宿概要>

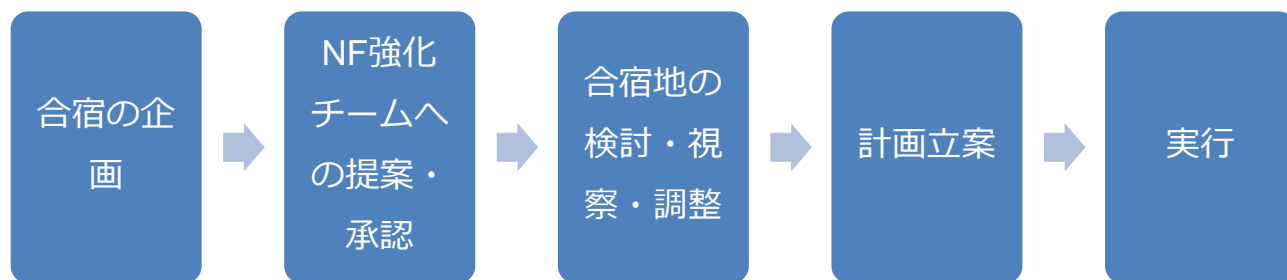
期間：2019年12月25日～28日

参加選手：男子3名、女子4名

場所：鳥取県米子市

スタッフ：5名

合宿実行までのプロセス



<コーディネーターの声>

関根コーチが掲げる「自分のチームを作りたい」という目標の中で、合宿を組み立てる経験が必要だとメンターからフィードバックがあった。強化担当者との意見交換の中で紆余曲折あったが、組織としての課題がわかった。合宿の段取りの流れを理解したので、これからは任せられる。

Point

- コーチングにおける6つの職務領域を包括したプログラムを構築した
- 本事業の取組みを幅広く周知でき、NF内における理解が促進された

知識獲得および環境整備

本プログラムでは、ライセンス取得やセミナー・カンファレンスへの参加を通して、各競技の専門知識を獲得することを支援した。また、子育てと両立する対象コーチへの育児支援や相談できる体制としてのメンターの配置など、研修が継続できる環境整備も実施した。

<セミナー・カンファレンスへの参加（ラグビーフットボール・バレーボール）>



ハイパフォーマンススポーツカンファレンス2018～2019



Global Coach Conference2019

<専門的な知識獲得のための学習（野球）>



野球選手の栄養に関する学習



語学学習の講師と面談

Point

- 国内外のスポーツに関する最新情報を獲得
- 目指すコーチ像に沿った学習機会の創出

1. 価値観（コーチング哲学）の明確化

対象コーチらは、まだコーチとしての理念や価値観を言語化できておらず、自身のコーチング哲学を構築していく必要があった。本プログラムを通して、コーチング哲学の重要性を認識し、価値観が明確になった。

2. 自信の構築

研修会において、様々なプレゼンテーションの機会を創出したことにより、場数を踏むことができた。人前で話すことに対する苦手意識が払拭され、研修会の随所で堂々と発表されている姿が印象的だった。

3. 競技力の向上

本プログラム実施期間中に、1名の対象コーチが選手として日本代表に選出された。コーチングの視点を持つことにより、競技力向上に好影響を与えたと考えられる。

4. 目指すコーチ像の変化

本プログラムを通して、対象コーチたちの目指すコーチ像が変化した。目標が明確となったことにより、能動的な実現に向けた第一歩として、3名の対象コーチが自身のチームを立ち上げた。

成果

- エリートコーチを育成するプログラムに必要な要素がわかった
- 対象コーチの行動変容を促すプログラムを構築できた

アスリート向け勉強会

現役の女性アスリートが競技引退後にコーチという選択肢を見渡せるように、コーチングに関する研修プログラムを開発した。研修会の実施にあたり、再委託団体のコーディネーター及び対象コーチがファシリテーターとなり、対象コーチが実践的学習を行っている強化事業に参加する女性アスリートを対象に実施した。

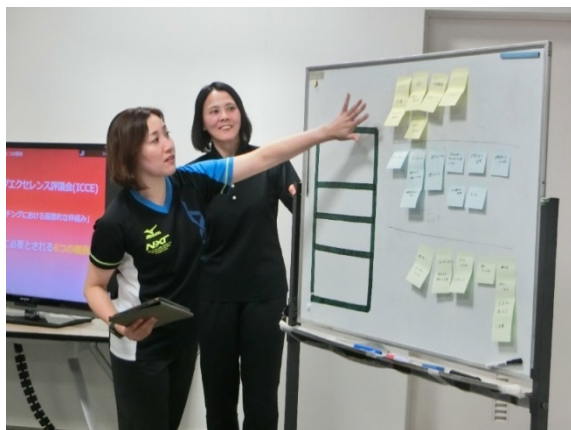


①ラグビーフットボール（対象コーチ:中嶋さん、平山さん）
日時：2019年2月8日（金）
場所：マロウドイン熊谷
対象：ユースアカデミー



参加アスリートの声

6つの職務を知って、今は選手として大きな目標があるけれども、大人になって将来コーチングをするということも良いかなと思いました。



②バレーボール（対象コーチ：井村さん、金子さん）
日時：2019年6月24日（月）
場所：東レアリーナ
対象：U-15

コーチは自分の中で難しいことだと思ってたけど、選手と重なることがたくさんあったから、それを生かしたいと思いました。



参加アスリートの声

Point

- 総勢**27**名のうち**17**名がコーチングに興味を持った
- 「コーチになりたくない」と回答するアスリートが減った

本プログラムの成果・還元に向けて

本事業で得られた成果は、JSCウェブサイト等を活用し、社会へ広く還元していく。



スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト

はじめに

オリンピック競技およびパラリンピック競技における女性アスリートに対する効果的な育成や支援の在り方については、また研究・開発の途上にあります。

そこで、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における女性アスリートの活躍に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康でハイパフォーマンススポーツを継続できる環境を整備するため、以下の事業をスポーツ庁が実施してきました。

- 女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究
- 女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究
- 女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究
- 女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究

・スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト

・女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究

・女性アスリート支援プログラム

・女性エリートコーチ育成プログラム

女性エリートコーチ育成プログラム ウェブサイト



中止



なお、2020年3月8日に開催を予定していた女性コーチセミナーについては、コロナウィルスの感染拡大防止のため中止となった。その代替案として、登壇予定だった井村久美子さん、小笠原歩さん、兼松由香さんよりコメントを頂戴し、セミナー専用ページにて情報発信する。